

第10回遠野市史編さん委員会 会議録

日 時	令和元年11月13日（水）13：30～15：15	
場 所	遠野市立図書館 視聴覚ホール	
出席委員数	9人中8人出席	
出席委員	岩崎真幸、大橋進、兼平賢治、熊谷常正、今野日出晴、斉藤利男、藤田俊雄、山影勝美	
出席委員	菅原伴耕	
事務局	石田久男	文化振興担当部長
	宮田秀一	市史編さん室長
	前川さおり	市史編さん室次長
	糠森千明	市史編さん室主任
	小島芳枝	〃
	菅原聡	〃

（進行：前川次長）

1 開会

2 委員長挨拶

3 報告

事務局より資料にもとづき報告後、各委員からそれぞれ担当分野の報告。
質疑なし

4 協議（進行：大橋委員長）

(1) 遠野市史のタイトルについて

- ・ 冒頭に「新編」をつけることで決定

(2) 民俗編基本構想案について

- ・ 提案どおりの体裁（B5版、500ページ以内、オールカラー）で了承されたが、できるだけ歴史の中に位置付けられた民俗編とする（通史編に寄った作り方で）。

(3) 近現代の時代区分について

- ・ 近世と近現代の境は、今後近現代部会が設置されてから協議して決める。
- ・ 現代編は昭和40年から現在まで扱うが、あくまでも特別編としての位置づけであるので、通史編（近現代）では現代編の年代も含める。

(4) 現代編について

①表紙デザイン

◎表紙カバー

- ・ タイトルの文字の色は経年劣化を考慮したほうが良い
- ・ 英語表記は入れない

- ・写真は使用するが、枚数は各編で統一しない
- ・現代編の写真は遠野と宮守に共通するものでかつ未来を展望できるものにした

◎表紙

- ・表紙の色は緑、紺などが候補か
- ・現代編の表紙を他編の表紙と同じにしなくても良い

②価格

- ・税込3,000円で異議なし
- ・市民割引などを検討してはどうか

(5) その他（現代編の原稿についての意見）

- ・ 第1章「時代のうごき」で遠野盆地に小友が含まれないので「遠野盆地とその周辺」などに修正
 - ・ 「まち物語」 「100年前からすでに」は当たり前のことなので「江戸時代からすでに」などに修正
 - ・ 「まち物語」の記述年代のバランスが悪い。綾織は中世から既に農業が進歩していた、土淵の記述は近世から開けたように書かれているが古代から開発されていた、鱒沢は鞍迫観音の記述を入れたい。⇒ 誰でも知っている歴史の情報を入れて欲しい
 - ・ 節の導入の字体がゴシック、その他は明朝になっているので統一したほうが良い
 - ・ 「まち物語」 達曾部金取遺跡の「前期旧石器時代」 → 「旧石器時代」
 - ・ 「まち物語」 「風習」という言葉はあまり使わないし選択基準が不明なので修正する
 - ・ データの表は、グラフにしたほうが変化が分かりやすい
 - ・ 都市計画区域変更の記述について、区域の図を入れたほうが良い
 - ・ 表現の精査をすること（住民を失望させるような言葉は使わない）
 - ・ 委員の先生方から期限を決めて意見をいただくほうが良い
 - ・ 体言止めが多いので修正する
 - ・ 町名だけではなく地区名のふりがなも付けたほうが良い
- ⇒ 編さん委員の先生方にメールで意見を伺うことにする

5 閉会